
幻想の島

菜乃香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻想の島

【Nコード】

N6433B

【作者名】

菜乃香

【あらすじ】

自分が創りだした、自分だけの島…空想の世界。もしそんな場所があつたら行ってみたいと思いませんか？（これは私が創った歌の歌詞を載せてみたものです。興味があつたらご覧になってみて下さい。）

（前書き）

これは私が創った歌の歌詞を載せてみたものです。

怖かった
現実から逃げてきた
あれから避^さけて
いつまでも遠のいて……

（ 間奏 ）

Aメロ
思っていた 気付くと居るその場所を
夢？って考えた そこは私の描いた島
でも今は 呼び声を聞いたんだ
何？って繰り返した 半信半疑で探してた
蝶々（ちょうちょう）や魚達が自由に振舞^{ふるま}って
誰もが持つてる夢の世界へ いつか私も行ってみ

たい

サビ1
偽りのない青く澄んだ 「 空 」 見下ろしてる
ずっと ずっと――
甘く香る紅い 「 花 」 見上げてる
きつと きつと…君を――

（ 間奏 ）

Aメロ
思ってみた そばに立った君の陰
誰？って問いかけた 君は私の叶え叶^{かな}え人

Bメロ

野原駆けて風追いかけて 一緒に居てくれた
でも願い満たしたその瞬間 もう君の姿はなかった

サビ2

疑いもなく包み込んだ 「森」 見渡してる
ずっと ずっと――
拒んだ過去を連れ去った 「海」 見守ってる
きつと きつと…君の

サビ3

Happy days 見えては消える 「島」
やり直せる

もつと もつと――
足音途絶えたときは 「夢」 いつか私も
きつと きつと… 行くよ

Dear: 幻想の島

（後書き）

どうでしたか？

見ていただいてありがとうございました。

感想を書いてもらえると嬉しいです。

また後程、歌の歌詞を載せてみたいと思います。

そのときはまた相手してくださいねっつ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6433b/>

幻想の島

2010年10月12日02時07分発行